

東京裁判は間違っている！



東京裁判ではA級犯罪の「平和に対する罪」などを事後法で規定、過去に遡って裁くことは罪刑法定主義に反し違法。また日本に対する連合国の経済封鎖は侵略そのもの、国際法パリ協定違反である。

- 一 東條首相はじめA級戦犯7名は当時の国際法に照らし、全員無罪である。
(印度パール判事・唯一の国際法学者)
- 二 戦後衆参四回の国会決議により、彼らの処刑は公務死とし、戦犯の汚名は晴らされ、名誉は回復されたのである。
- 三 先の大戦は侵略戦争にあらず。石油など資源を求めた日本の自存自衛の戦争であった。GHQ連合国軍最高司令官ダグラス・マッカーサー1951年米上院軍事・外交合同委員会にて証言

戦後の歴史を正す <https://nposkn>

特定非営利活動法人社会教育ネット

東京裁判は間違っている！

歴史家アーノルド・トインビー



日本人は日本のためよりも、むしろ戦争によって、利益を得た国のために偉大な歴史を残した。その国とは短命な理想の大東亜共栄圏に含まれた国々である。歴史上残した最大の業績は世界を支配した西洋人が不敗の神でないことを示した点にある。

台湾総統 李登輝

私は22歳まで岩里政男という日本人でした。なんら恥じることはない。戦死した兄が眠る靖国神社に行く。身内として当然ではないか。



初代中国共産党主席 毛沢東



日本社会党訪中団と1964年7月会見した際に、過去の日本との戦争について謝罪すると、何も謝ることはない。日本軍国主義は中国に大きな利益をもたらしてくれた。このおかげで中国人民は権力を奪取できた。日本軍なしでは不可能だった」と返答した。

戦後の歴史を正す <https://nposkn>

特定非営利活動法人社会教育ネット